

B II 71 (立山之絵図)



絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

1

2010/11/30

モチーフ

地色

色

紙地

推定色料名

色なし

絵図調査日

2010/11/30

DICNo.

未調査

肉眼で紙地、100倍顕微鏡の観察で紙地を確認したことから、色なしと推定した。

絵図(部分)



×100(ピーク)



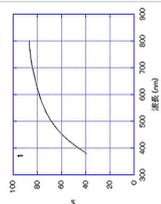
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ

画像なし

未調査

2010/11/30測定

絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

2

2010/11/30

モチーフ

川

色

青色

推定色料名

藍+胡粉か

絵図調査日

2010/11/30

DICNo.

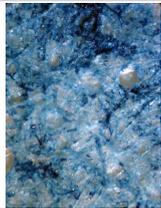
未調査

肉眼で青色、100倍顕微鏡の観察で白色と青色を確認。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と胡粉の混色と推定した。

絵図(部分)



×100(ピーク)



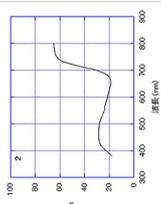
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ

画像なし

未調査

2010/11/30測定

絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

3

2010/11/30

モチーフ

山

色

緑色

推定色料名

藍+藤黄か

絵図調査日

2010/11/30

DICNo.

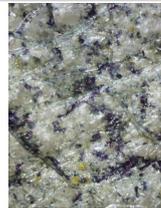
未調査

肉眼で緑色、100倍顕微鏡の観察で透明感のある青色と黄色を確認。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料と黄色系染料との混色の特徴を示していることから、藍と藤黄の混色と推定した。

絵図(部分)



×100(ピーク)



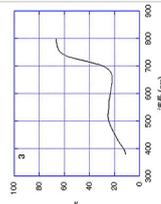
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ

画像なし

未調査

2010/11/30測定

絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

4

モチーフ

立山

色 薄橙色

推定色料名

朱+藤黄か

絵図調査日

2010/11/30

DICNo.

未調査

肉眼で薄橙色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、透明感のある黄色を確認したことから、藤黄と朱（辰砂）の混色と推定した。

絵図(部分)



×100(ピーク)



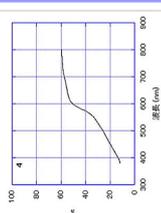
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ



絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

5

モチーフ

立山

色 茶色

推定色料名

藍+藤黄+朱か

絵図調査日

2010/11/30

DICNo.

未調査

肉眼で茶色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、透明感のある青色と黄色を確認したことか
ら、藍と藤黄と朱（辰砂）の混色と推定した。

絵図(部分)



×100(ピーク)



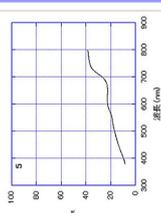
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ



絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

6

モチーフ

木の葉

色 濃緑色

推定色料名

藍+藤黄か

絵図調査日

2010/11/30

DICNo.

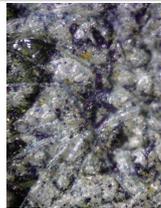
未調査

肉眼で濃緑色、100倍顕微鏡の観察で透明感のある青色と黄色を確認。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料と黄色系染料との混色の特徴を示していることから、藍と藤黄の混色と推定した。

絵図(部分)



×100(ピーク)



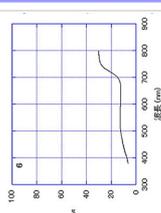
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ



絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

7

鳥居

モナーフ

色

赤色

推定色料名

朱(辰砂)か

絵図調査日

2010/11/30

DICNo.

未調査

絵図(部分)



×100(ピーク)



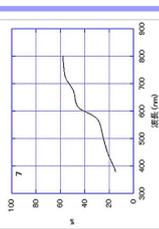
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ



絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

8

家

モナーフ

色

薄黄色

推定色料名

朱+藤黄か

絵図調査日

2010/11/30

DICNo.

未調査

絵図(部分)



×100(ピーク)



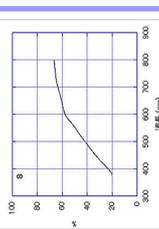
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ



絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

9

山

モナーフ

色

灰色

推定色料名

墨か

絵図調査日

2010/11/30

DICNo.

未調査

絵図(部分)



×100(ピーク)



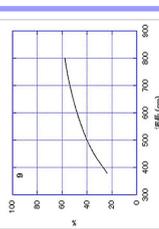
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ



絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

10

モチーフ

家

色

薄赤色

推定色料名

朱+藤黄か

絵図調査日

2010/11/30

DICNo.

未調査

肉眼で薄赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、透明感のある黄色を確認したことから、藤黄と朱（辰砂）の混色と推定した。

絵図(部分)



×100(ピーク)



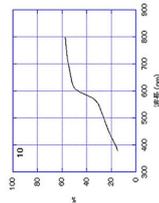
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ

画像なし

絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

11

モチーフ

道

色

黒色

推定色料名

墨か

絵図調査日

2010/11/30

DICNo.

未調査

肉眼で黒色を確認。墨と推定した。

絵図(部分)



×100(ピーク)



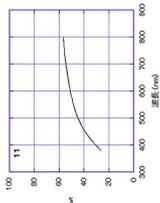
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ

画像なし

絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

12

モチーフ

山

色

赤色

推定色料名

朱(辰砂)か

絵図調査日

2010/11/30

DICNo.

未調査

肉眼で赤色を確認。朱（辰砂）と推定した。

絵図(部分)



×100(ピーク)



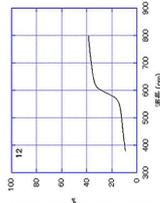
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ

画像なし

絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

13

岩屋小クサリ付近

色

黄色

推定色料名

朱+藤黄か

絵図調査日

2010/11/30

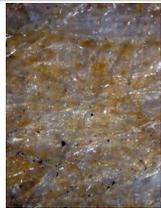
DICNo.

未調査

絵図(部分)



×100(ピーク)



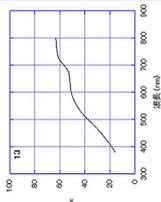
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ

画像なし

絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

14

池

色

青色

推定色料名

藍+胡粉か

藍か

絵図調査日

2010/11/30

DICNo.

未調査

絵図(部分)



×100(ピーク)



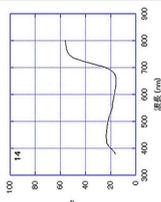
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ

画像なし

絵図名

BIV71

立山之絵図

作成年代

1822

所蔵機関

射水市新湊博物館

ポイントNo.

15

山

色

薄緑色

推定色料名

藍+藤黄か

薄緑色

絵図調査日

2010/11/30

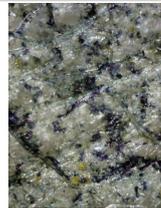
DICNo.

未調査

絵図(部分)



×100(ピーク)



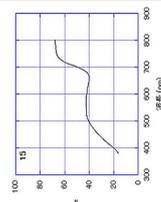
×175(キーエンス)



赤外線写真(部分)



可視反射スペクトル



蛍光X線スペクトル



メモ

画像なし

肉眼で青色を確認。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍か藍と胡粉の混色と推定した。

肉眼で濃緑色、100倍顕微鏡の観察で透明感のある青色と黄色と確認。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料と黄色系染料との混色の特徴を示していることから、藍と藤黄の混色と推定した。